科目名			担当教員	
精神保健福祉援助技術総論Ⅱ			小野　芳秀	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CR3154	2	1	RorSR (講義)	2年以上
履修登録条件		「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。		
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

本科目は2012（平成24）年度より適用カリキュラムの「精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）」にあたるものです。「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」ならびに「医療と協働・連携する相談援助の方法に関する知識と技術」を習得することが求められています。主な内容は様々な問題に対応する精神保健福祉士としての役割、相談援助の定義・理念・形成過程、他の専門職について理解した上で多職種との連携の仕方などについて学びます。「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」を学ぶ上で基盤となる科目です。

■到達目標

１）援助技術についての理解を深め実践できる。
２）記録の書き方を理解し実践できる。
３）様々な関連技術について説明できる。
４）多職種との連携の意義と方法について説明できる。
５）ライフステージやライフコースにおける課題がつかめ、それぞれの課題に対する支援の仕方を理解し説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価70%＋スクーリング評価 or 科目修了試験30%

■教科書・参考図書

【教科書】（「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー3 精神保健福祉相談援助の基盤[基礎][専門]〈第６版〉』へるす出版、2017年　第３章～第６章（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年４月

※「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）資料配付・提示のほかに、上記教科書を使用する場合があります。

【参考図書】

１）立花直樹・小口将典・竹下徹・九十九綾子・汲田千賀子・「最新・はじめて学ぶ社会福祉９ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（共通）」ミネルヴァ書房、2023 年

２）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座　ソーシャルワークの理論と方法［共通科目］』中央法規出版、2021 年

３）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 精神保健福祉士養成講座　精神保健福祉の原理』中央法規出版、2021 年

４）野中猛著『心の病 回復への道』岩波新書、2012 年

５）F・P・バイステック著　尾崎新 他訳『ケースワークの原則 援助関係を形成する技法 新訳改訂版』誠信書房、2006 年

６）C・A ラップ、R・J ゴスチャ著　田中英樹監訳『ストレングスモデル－精神障害者のためのケースマネジメント　第３版』金剛出版、2014 年

※教科書記載の参考図書も参照されたい。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

・精神保健福祉士の役割および基本的な相談援助技術を理解し、多職種といかに連携していくかを理解してほしい。

・人のライフステージやライフコースにおけるメンタルヘルスについて理解してほしい。

■講義内容

▶オンデマンドのみ

回数	テーマ	内容
1	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程①	ソーシャルワークの展開過程
2	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程②	グループを活用した支援、地域を対象とした支援
3	専門職としての技術①	アセスメント、アウトリーチ
4	専門職としての技術②	記録
5	関連する援助技術の概要①	ケアマネジメント、クライシス・プラン
6	関連する援助技術の概要②	ＳＳＴ、心理教育
7	精神保健福祉分野における多職種との連携	チームアプローチ、多職種連携の形態
8	ライフステージやライフコースにおける精神保健福祉士の役割　質疑応答	ライフステージやライフコースにおける発達課題、メンタルヘルス課題
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

上記講義内容にそって、講義を進めます。

※スクーリング担当教員によって変更される場合があります。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況 20%とスクーリング試験 80%で評価します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

テキスト第３章Ⅲから第６章までを読み、ケアマネジメント、SST について事前学習に取り組んでからスクーリングに臨んでください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程① (第３章ⅢA)	ソーシャルワークの展開過程を理解する。 キーワード：インテーク、契約、アセスメント、エコマップ、ジェノグラム、支援計画、支援の実施	ソーシャルワークの展開過程のそれぞれの場面の意味を理解する。
2	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程② (第３章ⅢB、C)	ソーシャルワークの３領域について学び、個別支援における面接技術について理解する。 キーワード：ミクロ、メゾ、マクロ、面接、生活場面面接、守秘義務	３つの領域と生活場面面接について理解する。
3	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程③ (第３章ⅢC)	記録について理解する。 キーワード：ケース記録、叙述体、逐語録、要約体、フェイスシート、エコマップ、ジェノグラム	記録の形式とその活用について理解する。
4	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程③ (第３章ⅢD)	グループを活用した支援について理解する。 キーワード：グループワーク、グループワークの展開過程、グループワークにおけるプログラム、グループワーク実践の基本原理、原則	グループワークにおける支援方法を理解し、説明できるようにまとめる。
5	協働作業としてのソーシャルワークの展開過程④ (第３章ⅢE)	地域を対象とした支援について理解する。 キーワード：コミュニティワーク、プロセスモデル、 様々な技法	コミュニティワークの支援方法と課題の抽出の技法を理解する。
6	精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの動向① (第４章Ⅰ・Ⅱ)	わが国にソーシャルワークが導入された歴史を理解する。 キーワード：マイヤー、リッチモンド、ビアーズ、呉秀三、全国組織化	アメリカにおける精神科ソーシャルワークの草創期、わが国への導入の経緯を理解する。

7	精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの動向② (第４章Ⅲ)	精神保健分野における混乱期以降の歴史を理解する。 キーワード：精神衛生法、精神保健法、障害者基本法、障害を持つアメリカ市民法（ADA)、全家連、倫理綱領、精神保健医療福祉の改革ビジョン、障害者自立支援制度（障害者総合支援法）	現在の精神保健福祉の制度が成立した過程を理解する。
8	精神保健福祉分野における多職種との連携① (第５章ⅠA)	医療機関における専門職について理解する。 キーワード：社会福祉専門職、医師、看護師、作業療法士、理学療法士、臨床心理技術者、薬剤師、管理栄養士、退院後生活環境相談員	医療機関における多職種の専門性を理解する。
9	精神保健福祉分野における多職種との連携② (第５章ⅠB)	福祉行政、関連行政機関における専門職について理解する。 キーワード：保健所の医師、保健師、福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、障害者職業カウンセラー、ジョブコーチ、精神障害者雇用トータルサポーター、社会復帰調整官	福祉行政、関連行政機関における専門職の役割を理解する。
10	精神保健福祉分野における多職種との連携③ (第５章ⅠC)	民間施設・組織における専門職について理解する。 キーワード：施設長、生活指導員、介護福祉士、社会福祉士、社会福祉協議会の職員、地域包括センターの職員、介護支援員、 相談支援専門員、サービス管理責任者、居宅介護従事者、ピアサポーター	民間施設・組織における専門職の役割について理解する。
11	精神保健福祉分野における多職種との連携④ (第５章ⅡA)	チームアプローチと多職種連携について理解する。 キーワード：チームアプローチ、専門職志向、専門性志向、利用者尊重志向、協働性志向	チームアプローチについて説明できるようにする。
12	精神保健福祉分野における多職種との連携⑤ (第５章ⅡB)	精神保健福祉領域における多職種連携の現況を理解する。 キーワード：チーム医療、指導・監督の関係 、生活者支援の視点モデル、利用者中心主義、利用者の参加など包括的なアプローチの原則、多職種連携の形態	様々な連携の在り方を理解する。

13	精神保健福祉分野における多職種との連携⑥ (第５章ⅡC、D)	多職種連携における精神保健福祉士の専門性について理解する。 キーワード：精神保健福祉士の視点、利用者の参加	多職種連携における精神保健福祉士の専門性について理解し、説明できるようにする。
14	精神保健福祉分野における多職種との連携⑦ (第５章Ⅲ)	精神保健福祉領域における精神保健福祉士の生活支援について理解する。 キーワード：生活支援、谷中輝雄、ごく当たり前の生活	精神保健福祉領域において精神保健福祉士が生活支援に果たす役割を理解する。
15	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割 (第６章)	メンタルヘルスについて理解し、ライフステージにおける精神保健福祉士の役割について理解する。ライフコースについても調べ理解する。 キーワード：メンタルヘルス、ライフステージの課題、エリクソンの発達課題	ライフステージやライフコースにおける、発達課題を理解し、精神保健福祉士の役割について説明できるようにする。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	多職種連携の必要性と精神保健福祉士の役割を述べてください。 ※1,900 字以上記述してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

テキストに記載されている制度や理論は、初学者にとっては、やや取り組みにくい内容かもしれません。関連書籍や資料を読み、不明の用語があれば、その都度意味を調べながら、積極的かつ精緻な学びに取り組んでください。

精神保健福祉士法第 41 条において、精神保健福祉士が他職種との連携を保つことの義務が明記されています。多職種連携によって、支援対象者にはどのようなメリットがあるのか、そのために必要なスキルについて考えてみましょう。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

第５章をよく読み、様々な分野における連携の必要性についてまとめ、その中での精神保健福祉士の果たす役割、求められている役割について述べてください。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容の理解度を評価します。